



# 日本のバイエル 会社案内

*Bayer in Japan*



目次

**バイエルのビジョン・バイエルの価値観** ————— 1  
About Bayer

**世界のバイエル** ————— 2~3  
Bayer in the World

**日本のバイエル事業概要** ————— 4~5  
Bayer in Japan

**バイエルのイノベーション** ————— 6  
Innovation of Bayer in Japan

**バイエルのデジタル・トランスフォーメーション** ————— 7  
Digital Transformation of Bayer in Japan

**バイエルのサステナビリティ** ————— 8~9  
Sustainability at Bayer in Japan

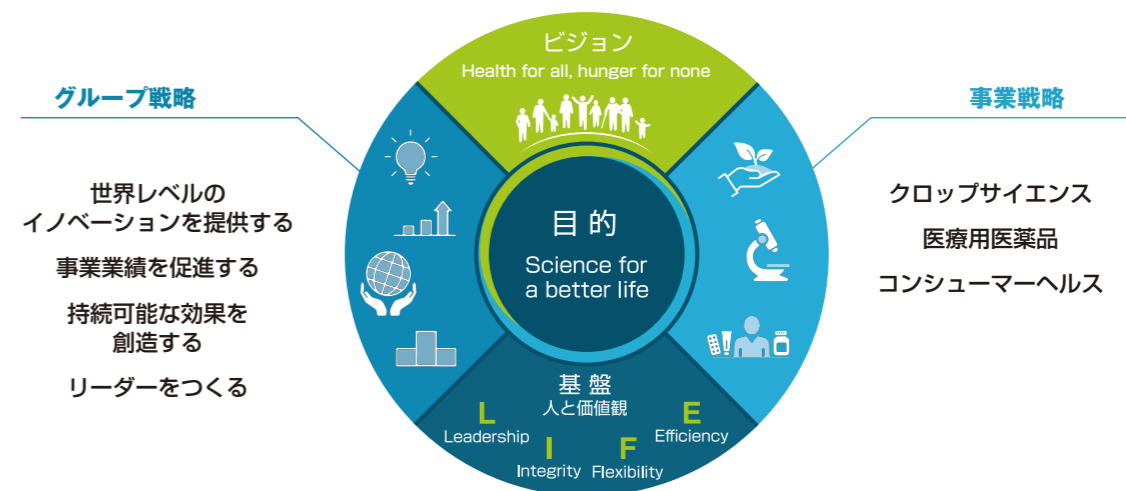


**バイエルのビジョン**  
About Bayer

バイエルは、ヘルスケアと農業関連の領域を中核事業とする世界有数のライフサイエンス企業です。私たちの革新的な製品は、世界人口の増加と高齢化によって生じる重要課題解決への取り組みをサポートしています。

私たちの目的「**Science for a better life**」によって、私たちはヘルスケアと食糧に画期的なイノベーションをもたらします。私たちは、病気を治療するだけでなく、効果的に予防や治癒することができ、人々が自身の健康ニーズにより効果的に対応し、地球の天然資源を大切にしながら十分な農作物を生産できる世界に貢献しています。

バイエルは、事業成長とサステナビリティが密接に関連していると信じています。私たちは「**Health for all, hunger for none (すべての人に健康を、飢餓をゼロに)**」というビジョンの実現に取り組んでいます。私たちの戦略は、このビジョンを実現するものであり、長期的な収益性の高い成長を達成し、社会と環境に積極的に貢献することを目的としています。



**バイエルの価値観 LIFE**

世界有数のライフサイエンス企業としてイノベーションとサステナビリティに注力するバイエルのビジョン「Health for all, hunger for none (すべての人に健康を、飢餓をゼロに)」は、私たちの目的「Science for a better life」の達成を可能にするための価値観と行動に基づいています。私たちの4つの価値観「LIFE (リーダーシップ、誠実さ、柔軟性、効率性)」は、それぞれがバイエルの全社員に期待される点を定義する3つの属性によって表されます。



- | Leadership (リーダーシップ)  | Integrity (誠実さ)   | Flexibility (柔軟性)   | Efficiency (効率性)   |
|---|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・勝つためにプレーする</li> <li>・目的を持ってリードする</li> <li>・自分と他者を成長させる</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な行動を示し、ロールモデルとなる</li> <li>・信頼を築き、インクルーシブである</li> <li>・協力し、連携する</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・顧客とともに価値を創造する</li> <li>・新しいことを試み、イノベーションに注力する</li> <li>・デジタル化を推進する</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・責任を果たす</li> <li>・無駄なく、迅速に</li> <li>・勇気を持ち、他者に権限を与えさせる</li> </ul> |





## 世界のバイエル

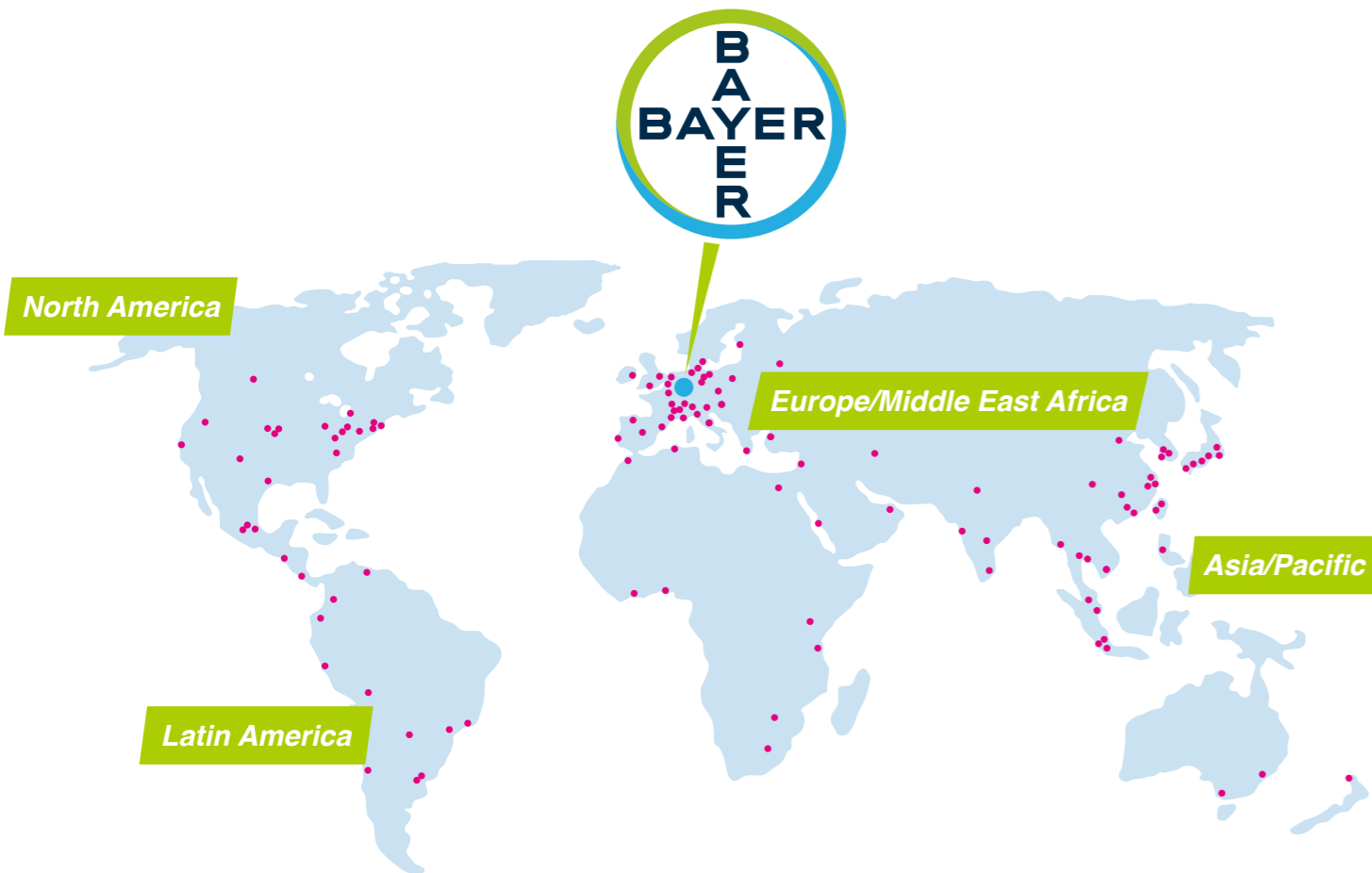
Bayer in the World

それはすべて2人の友情と、豊かな好奇心、そして2台のキッチンストーブから始まりました。実業家のフリードリヒ・バイエルと染色師ヨハン・フリードリヒ・ヴェスコットは、これらをもとに新たな試みに挑み、やがて染料フクシンの製造方法を発見しました。1863年8月1日、彼らは大きな可能性を秘めた19世紀のスタートアップ企業「フリードリヒ・バイエル社」をヴッパータール・バルメンに設立しました。

It all starts with a friendship between two men, plenty of natural curiosity and two kitchen stoves. Businessman Friedrich Bayer and dyer Johann Friedrich Weskott use these to conduct experiments and eventually discover how to make the dye fuchsine. On August 1, 1863, they found the "Friedr. Bayer et. comp." company in Wuppertal-Barmen, a 19th century startup with tremendous potential.

## バイエルは世界で事業を展開しています。

The Bayer Group is a global enterprise with companies in almost every country.



## 世界の沿革



- 1863 ● F.バイエルとJ.F. ヴェスコットによりヴッパータールに会社設立
- 1912 ● 本社をレバクーゼンに移転
- 1951 ● ファーベンファブリケン・バイエル社として再建
- 2005 ● ランクセス社がバイエルグループから分離独立
- 2006 ● シ어링社 (ベルリン、ドイツ) を買収
- 2014 ● 米国メルク社のコンシューマーケア事業を買収
- 2015 ● 素材科学事業グループを新会社「コベストロ」として分離
- 2018 ● モンサント社買収



## バイエルの発明家たち

フェリックス・ホフマン、ゲルハルト・ドーマク、オットー・バイエルなど、医薬品や、化学に革命をもたらした研究者や科学者は、バイエルでその歴史的な偉業を成し遂げました。イノベーションと社員の能力は企業としてのバイエルの成功を形作り、バイエル成長のために主要な推進力です。



フェリックス・ホフマン  
アスピリンを発明



ゲルハルト・ドーマク  
1939年、ノーベル医学賞を受賞



## 日本のバイエル事業概要

Bayer in Japan

バイエルは、日本でも創業以来100年を超える歴史があります。日本のバイエルは疾病の予防、緩和、治療を支え、また日本の農業の持続可能な発展に向けて、3部門で事業を展開しています。

Bayer has more than 100 years history in Japan. We operates business with three divisions to contribute to the field of health and nutrition.

医療用医薬品部門では、循環器・腎臓領域、オンコロジー領域、眼科領域、婦人科領域、血液領域の処方薬、および画像診断領域に注力しています。

The Pharmaceuticals division focuses on prescription products, especially for women's healthcare, cardiovascular diseases, oncology, hematology and ophthalmology. The division also comprises the radiology business unit which markets contrast-enhanced diagnostic imaging equipment together with the necessary contrast agents.

// 医療用医薬品(処方薬) 循環器・腎臓病、腫瘍、眼科、婦人科、その他の疾患、ならびに画像診断薬



### 医療用医薬品

## コンシューマーヘルス



コンシューマーヘルス部門では、赤ちゃんの「人生最初の1000日」に適切な栄養を届けるため、女性の妊娠準備と妊娠期間を支援するサプリメントに注力しています。また、生誕110年以上の解熱鎮痛薬「バイエルアスピリン」、アレルギー性疾患治療剤や膈カンジダ抗真菌剤を通じ、人々のQOL向上に努めています。

The Consumer Health Division focuses on supplements to deliver proper nutrition to babies during their first 1000 days of life through helping mothers-to-be in their pregnancy journey. The division also strives to empower the transformation of everyday health through Bayer Aspirin, an antipyretic and analgesic drug that has been in existence for more than 110 years, and products for the treatment of allergic diseases and vaginal candida antifungals.

// 一般薬(市販薬)、プレナタルサプリメント(栄養機能食品)、アレルギー性疾患治療薬、皮膚疾患治療薬(抗真菌薬)

クロープサイエンス部門では殺虫剤・殺菌剤、除草剤、種子処理剤などの農業事業に加え、ドローンをはじめとするロボティクスやテラーメイドソリューションを実現するデジタル技術の開発・提供を軸に日本農業の持続可能な発展に貢献しています。

The Crop Science Division offers crop protection products, including insecticides, fungicides, herbicides, and seed treatments. Additionally, provides drones and other robotics and digital technologies that enable tailor-made solutions aiming to contribute to the sustainable development of Japanese agriculture.

// 農業(化学農業・生物農業) 種子・形質、デジタル技術・サービス

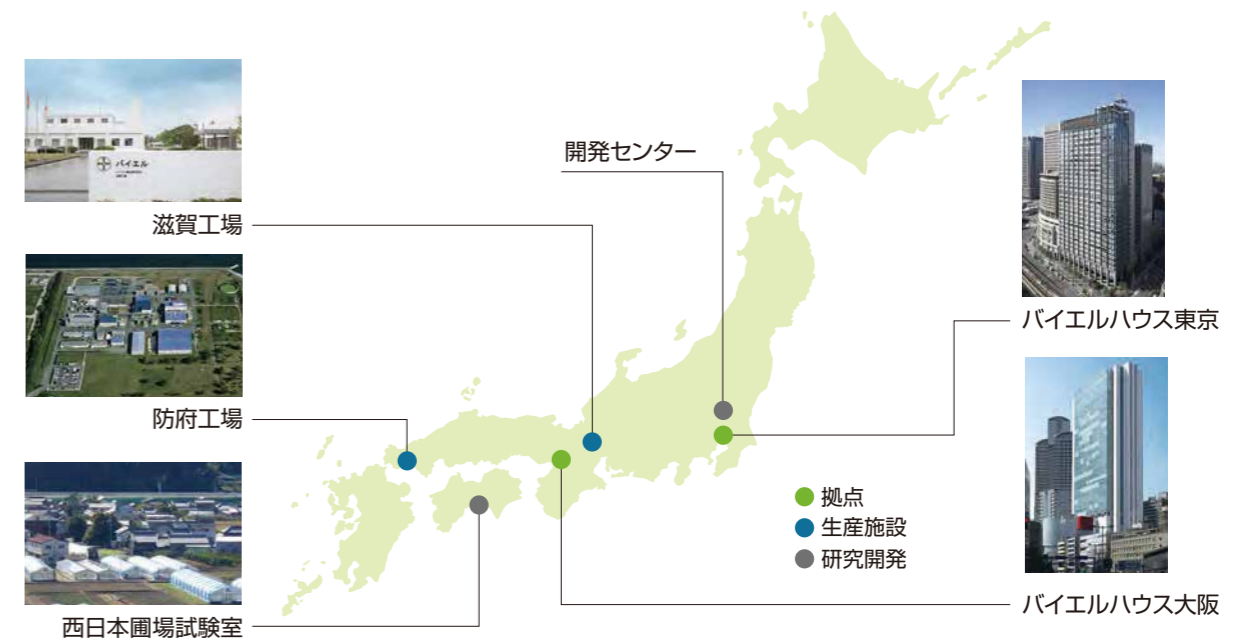


### クロープサイエンス

## 日本の沿革

- 1886 ● 赤色直接塗料ベンゾパープリンが日本に輸入される
- 1911 ● 「フリードリヒ・バイエル合名会社」を全額出資子会社として設立
- 1927 ● 医薬品、農業を扱う「バイエル・マイステル・ルチウス薬品合名会社」を設立
- 1941 ● 資本・技術提携により「日本特殊農業製造株式会社」を設立(農業製造)
- 1969 ● 共同出資により「住友バイエルウレタン株式会社」を設立(MDI製造)
- 2001/2002 ● アベンティス クロープサイエンス買収(日本では「アベンティス クロープサイエンス シオノギ株式会社」設立)
- 2005 ● ランクセス社がバイエルグループから分離(日本では「ランクセス株式会社」が独立)
- 2006/2007 ● シエーリング社を買収(日本では「日本シエーリング株式会社」を事業統合)
- 2008 ● 日本でのプラットフォームとなるバイエル ホールディング株式会社を設立
- 2016 ● ライフサイエンスカンパニーとして組織再編
- 2018 ● 滋賀工場が創立40周年、防府工場が創立50周年を迎える
- 2020 ● 日本モンサント株式会社の事業を統合

## 日本各地の拠点とオフィスを通じて大規模に事業を展開







## バイエルのイノベーション

Innovation of Bayer in Japan

私たちの目的「Science for a better life」によって、私たちはヘルスケアと食糧に画期的なイノベーションをもたらします。私たちは、病気を治療するだけでなく、効果的に予防や治療をすることができ、人々が自身の健康ニーズにより効果的に対応し、地球の天然資源を大切にしながら十分な農作物を生産できる世界に貢献しています。

### 細胞・遺伝子治療



私たちの体を構成する要素である遺伝子や細胞に注目することで、最も困難な病気さえも治すことができる可能性があります。細胞治療と遺伝子治療は、病気を分子レベルで捉え、損傷した分子や機能不全の分子を置き換えることを目的としています。バイエルは全世界で疾患の「治療」から「回復」を目指し、特に「がん細胞療法」、「アデノ随伴ウイルスによる遺伝子治療」、「遺伝子編集」、「人工多能性幹細胞を中心とした幹細胞療法」の4つの分野に注力しています。

バイエルが日本の水稻に変革を起こすソリューション「水田雑草テラーメイド防除」は、ドローンをはじめとするロボティクスを活用して単一成分による高濃度製剤を使用することで、必要な場所に必要だけ農薬を散布することが可能になります。これにより、環境への負荷を減らすだけでなく、農作業にかかる時間や労力を削減し、作業員の農薬暴露のリスクも低減します。さらには、不要な農薬を散布する必要がないという点でコスト面でもメリットがあります。



### 水田雑草テラーメイド防除

### Leaps by Bayer

DARE TO LEAP

バイエルは、Leaps by Bayerによるインパクト投資を通じて、現代のヘルスケアと農業が直面する最大の課題にソリューションを見出すことを目指し、50を超えるバイオテクノロジー、ヘルステック、アグテック分野への投資を行っています。Leaps by Bayerでは人類が直面する10の課題に取り組むことを目的とした独自の施策を推進しています。

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1 遺伝性疾患の克服        | 6 自己免疫疾患と慢性炎症からの回復 |
| 2 持続可能な臓器・組織置換の実現 | 7 次世代型の健全な食糧の供給    |
| 3 農業による環境負荷の低減    | 8 持続可能なタンパク質供給の実現  |
| 4 がんの予防と克服        | 9 農作物や食品のロスの防止     |
| 5 脳と心のケア          | 10 データによるヘルスケアの変革  |

## バイエルのデジタル・トランスフォーメーション

Digital Transformation of Bayer in Japan

デジタル・トランスフォーメーションは、私たちのイノベーションを推進する上で不可欠です。バイエルでは、製品やサービスといった私たちの提供するソリューションに加え、デジタル技術を取り入れることでビジネスプロセスを改善し、人々にさらなるベネフィットをもたらすことに注力しています。

### Beyond the pill - 医薬品の提供を超えて



画像診断領域では、造影剤、造影剤自動注入器および線量管理システムのほか、AI(人工知能)を用いた画像診断支援ソフトウェアを提供しています。さらに、患者さんの診断や治療に関わるさまざまなフローにおいて、医師の効率的な意思決定を支援する各種AIアプリケーションの提供から、システムの統合、最適化までを可能にするデジタルプラットフォームの開発にも取り組んでいます。バイエルはデジタル技術を活用したソリューションプロバイダーとして、革新的な医薬品とともに医療の現場と患者さんの生活に変革をもたらしています。

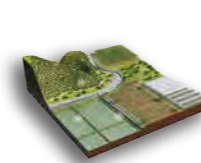
### ビジネスプロセスの効率化

患者さんや医療関係者がオンラインで24時間利用可能な副作用報告デジタルツール「SafeTrack Public」、また文書審査プロセスにおけるAI活用など、利便性の向上に加え、業務の効率化を図っています。

### テラーメイド・ソリューションの推進

日本の農業のサステナビリティにおいてはテラーメイド・ソリューションがカギとなります。バイエルでは、2018年よりデジタルファームに本格参入し、さまざまなソリューションの提供を加速しています。

### ソラナビ®



バイエルのデジタルファームのプラットフォーム「ソラナビ®」は、永年培ってきた農業開発のノウハウと、ロボティクスやセンシング技術・AIなどの最先端技術を駆使し、圃場ごとに最適化された、効率的で持続可能な農業の実現に貢献します。

### プランテクト®



ハウス栽培向け、病害予測機能搭載モニタリングサービス「プランテクト®」は、環境モニタリングとAIによる病害予測機能で構成され、ハウス栽培の収穫量向上に貢献する日本発のサービスです。温度湿度、CO2、日射量などのハウスで重要な環境を見える化し、トマト・ミニトマト、きゅうり、いちごの主な病害のリスクを人工知能により予測します。

### マジックスカウト



AIによる雑草・病害虫診断アプリ「マジックスカウト」はスマートフォンで撮影された写真から診断結果を導き、雑草や病害虫の特徴など詳細情報を表示します。診断結果のデータは水稻雑草デジタル防除などに使用できます。

### ドローン・農業用無人車



精密散布を実現するのに欠かせない、ドローンや農業用無人車などロボティクスの提供をXAG社と協働して行っています。農業用ロボティクスによる散布の最適化により、環境への負荷が低減するだけでなく、作業時間や労力の削減にも貢献します。





## バイエルのサステナビリティ

Commitment to Sustainability of Bayer in Japan

バイエルは、ヘルスケアと食糧関連のライフサイエンス領域を中核事業とするグローバル企業として、サステナビリティを推進することが、私たちのビジョン「Health for all, hunger for none」の実現、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に大きく貢献すると考えています。バイエルは、ビジネスにおける専門性を活かし、SDGsの中でも特に7つの目標に注力しています。

### 疾患啓発・支援活動

#### 婦人科領域：女性のライフステージと健康に関する情報の提供

健やかで充実した毎日を過ごすためには、自身のカラダと向き合い、正しく理解することが大切です。ウェブサイトでの情報発信や高校生を対象とした産婦人科医師による健康教育などを通じて、個々が望む人生設計やキャリアプランの実現のために、女性特有の疾患やライフステージの変化について知っていただく機会を提供しています。また、さまざまなステークホルダーと協働し、日本の若者のSRHR(Sexual and Reproductive Health and Rights: 性と生殖に関する健康と権利)に関する認識向上、課題解決のためのサポート拡充に向けた支援を行っています。



「かがやきスクール」の授業風景  
(埼玉県立南稜高等学校)

#### 循環器・腎臓領域：患者さんサポート情報の提供、自治体・NPOとの連携協定

慢性腎臓病(CKD: Chronic Kidney Disease)は、慢性的に腎臓機能の低下が続く状態です。CKD悪化防止のためには、生活習慣と食生活の改善が欠かせません。そこで、特に透析療法を受けている患者さんご家族に参考にしていただける管理栄養士監修の透析食レシピサイト「キッチンうみ」を提供しています。また、NPO法人 日本腎臓病協会とは、CKD対策の普及啓発に関する連携協定、横浜市とは、心臓リハビリテーション普及推進に関する連携協定を締結しています。



日本腎臓病協会との連携協定調印式

#### オンコロジー領域：幅広いステークホルダーとの課題共有と共感の形成、課題解決に向けた提案

最適な医療へのアクセス課題や患者さんのアンメットニーズは、患者さんごとはもちろんですが、がん種によっても異なります。これらを医療経済学研究や調査などを用いながら明確化するほか、患者団体の協力を得て座談会を開催し、そのレポートなどを通じて幅広いステークホルダーとの課題共有と共感の形成、課題解決に向けた提案に取り組んでいます。

- ・肝細胞がん・希少がん領域:がん治療の道しるべ(2019年～)
- ・前立腺がん領域:前立腺がん患者さんのQOLを考える座談会(2019年～)
- ・固形がん全般:「臨床×病理医座談会」がんゲノムプロファイリング検査における適切な検体取り扱い(2022年～)



植樹を行った社員ボランティア(千葉県・釣ヶ崎海岸)

### 緑化活動

(公社)国土緑化推進機構の「緑の募金」に寄附を行い、NPOと協働し、温室効果ガス削減および風害・潮害などから農地や居住地を守ることを主な目的として、海岸防災林の植樹およびフォローアップ作業を社員ボランティア参加のもと行っています。



### 次世代の農業者育成支援

#### 世界若者農業サミット

持続可能な農業と食糧安全保障を支え、生産者と消費者との相互理解をサポートする若きグローバルリーダーのコミュニティ、世界若者農業サミット(Youth Ag Summit)。“Feeding a Hungry Planet”(地球レベルでの食糧安定供給)というテーマのもと、農業および関連分野における次世代のリーダー100名が代表団として選出され、隔年で開催されています。



#### 海外農業研修プログラムへの支援

公益社団法人 国際農業者交流協会(JAEC)の海外研修プログラムに関し「バイエル スカラシップ」を創設。2022年現在、累計30名の今後の日本の農業を担う若手農業者を支援。その他、さまざまな育成プログラムを展開しています。



### インクルージョン&ダイバーシティ

職場環境や社会における&D推進の取り組みの一環として、認定NPO法人虹色ダイバーシティに寄附を行い、LGBT+\*に関する情報提供・相談・交流の場である「プライドセンター大阪」の運営と啓発活動を支援しています。また、同NPOと協働し、LGBT+に関する課題を視覚化、広く共有するためのコンテンツ制作にも取り組んでいます。

\*LGBT+ : Lesbian(レズビアン)、Gay(ゲイ)、Bisexual(バイセクシュアル)、Transgender(トランスジェンダー)に加え、こうした言葉では表現しきれない性の多様性を“+”で表しています。



#### 多様性への取り組み

社員それぞれの個性や才能、人生における経験や知識、革新性、自己表現を結集すれば、その成果はバイエルの成功にも大きく貢献します。日本では、車いす陸上の伊藤智也選手と、車いすラグビーの小川仁士選手が、バイエルの社員選手として活躍しています。





## 日本のバイエル各社

バイエル ホールディング株式会社  
Bayer Holding Ltd.

〒100-8268 東京都千代田区丸の内1-6-5 丸の内北口ビル  
Tel. 03-6266-7010  
<https://www.bayer.jp>

Marunouchi Kitaguchi Bldg.,  
1-6-5, Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8268  
Tel. 03-6266-7010  
<https://www.bayer.jp>



バイエル薬品株式会社  
Bayer Yakuhin, Ltd

〒530-0001 大阪市北区梅田2-4-9 ブリーゼタワー  
Tel. 06-6133-7000  
<https://www.pharma.bayer.jp>

BREEZÉ TOWER,  
2-4-9, Umeda, Kita-ku, Osaka 530-0001  
Tel. 06-6133-7000  
<https://www.pharma.bayer.jp>



バイエル クロップサイエンス株式会社  
Bayer CropScience K.K

〒100-8262 東京都千代田区丸の内1-6-5 丸の内北口ビル  
Tel. 03-6266-7007  
<https://cropscience.bayer.jp>

Marunouchi Kitaguchi Bldg.,  
1-6-5, Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8262  
Tel. 03-6266-7007  
<https://cropscience.bayer.jp>



## 開発・生産施設

滋賀工場  
(医薬品の製造)

バイエル薬品株式会社 滋賀工場  
Supply Center Shiga, Bayer Yakuhin, Ltd.

〒520-3493 滋賀県甲賀市甲賀町鳥居野121-1  
Tel. 0748-88-5660

121-1, Toriino, Koka-cho, Koka-shi, Shiga 520-3493  
Tel. 0748-88-5660

防府工場  
(農薬の製造)

バイエル クロップサイエンス株式会社 防府工場  
Hofu Factory, Bayer CropScience K.K.

〒747-0825 山口県防府市新田築地2061  
Tel. 0835-22-6307

2061, Shinden Tsukiji, Hofu, Yamaguchi 747-0825  
Tel. 0835-22-6307

開発センター

バイエル クロップサイエンス株式会社  
Development Center, Bayer CropScience K.K.

〒307-0001 茨城県結城市結城9511-4  
Tel. 0296-54-4120

9511-4, Yuki, Yuki-shi, Ibaraki 307-0001  
Tel. 0296-54-4120

西日本圃場試験室

バイエル クロップサイエンス株式会社  
Agronomic Technology Station West Japan, Bayer CropScience K.K.

〒783-0005 高知県南国市大涌乙2549  
Tel. 088-863-3552

2549, Osoneotsu, Nankoku-shi, Kochi 783-0005  
Tel. 088-863-3552